

農業担い手メールマガジン（第100号）

インデックス

現場の皆さんへ ～農業担い手メールマガジン第100号に寄せて～  
農業担い手メールマガジン読者アンケートの結果について  
【新企画】担い手のための耳寄り新技術  
～水田作経営向けの経営計画・管理ソフト～

現場の皆さんへ ～農業担い手メールマガジン第100号に寄せて～

農林水産省経営局長 高橋 博

全国の担い手の皆さん、お仕事お疲れ様です。皆さんが日々創意工夫をこらしながら、農業経営に勤しんでいらっしゃることに敬意を表します。

わが国の農業に関しましては、国内の食料供給力強化の必要性がかつてないほど高まっています。中でも、食料供給力の重要な要素である農業の担い手の育成・確保と、担い手の発展に必要な農地の確保並びにその有効活用が、大変重要な課題となっています。

農業の担い手の育成については、量的な確保の必要に加え、農業を取り巻く環境変化に対応しうる高い経営力を持った担い手の育成が急務です。また、農地の確保と有効利用については、地方分権改革推進委員会や経済財政諮問会議の動向をにらみながら、農地政策の改革を進めているところです。

こうした中、平成17年11月に「担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン」として創刊された当メールマガジンは、現場の農業者や農業関係者の皆さんとの双方向の情報受発信ツールを目指して、本年4月に大幅なりニューアルを行いました。リニューアル後は、担い手政策や農地政策をはじめとした農政の方向を分かりやすくお伝えすることに努めております。これに対して、現場の農業者の皆さんをはじめ、たくさんの方々より貴重なご意見を多数いただき、こうしたご意見に対しては、責任ある回答をお返しするよう取組を進めているところです。

今後は、これまでの担い手の育成に関する有益な情報発信や事業のワンポイント紹介、Q & Aに加え、今後は、新しい営農技術や経営管理ノウハウなど、担い手や農業関係者の皆さんのお役に立つ情報の発信を積極的に進めて参りたいと考えております。

担い手の皆様方の経営が益々発展されることを期待いたします。

ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

[https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM\\_NO=120](https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=120)

## 農業担い手メールマガジン読者アンケートの結果について

先日の農業担い手メールマガジン第98号で実施いたしました読者アンケートは、全国の90名の方からご回答をいただきました。その概要についてお知らせします。

### 【ご回答いただいた方の属性について】

年齢は50歳代が最多で31%、次いで40歳代が29%、30歳代が18%でした。また、男性が98%を占めました。

回答者の職業をみると、農業経営者と農業従事者の回答割合が高く、両者で47%を占めました。次いで多かったのは公務員・関係団体職員の45%でした。

農業者について経営の形態をみると、専門的農家が過半数（52%）を占めています。法人経営は11%、集落営農は8%でした。また、認定農業者の割合は63%でした。

### 【メールマガジンの評価について】

メールマガジンの長さについては、「ちょうど良い」とする回答が92%でした。

「現場の皆さんへ」のコーナーについては、「参考になる」とする回答割合が85%を占め、概ね好評をいただいているものと思われます。ただし、認定農業者では25%が「参考にならない」と回答され、担い手の中には内容が物足りないと思われる方もいらっしゃるようでした。

「現場の皆さんへ」の今後については、「もっと詳しく」という回答割合が51%を占め、特に認定農業者ではこの割合が63%にのぼりました。一方、公務員・関係団体職員では、「このままでよい」とする割合が最も高く53%でした。

「事業活用のポイント」および「農業担い手経営相談コーナー」では、「わかりやすい」、「参考になる」という回答割合がそれぞれ56%、69%を占めました。こうした肯定的評価は、特に公務員・関係団体職員で高くなっています（事業活用のポイントでは77%、相談コーナーでは87%）。これに対して、認定農業者では、むしろ「関心のある事業（質問）が取り上げられていない」とする割合が高くなっています（事業活用のポイントでは54%、相談コーナーでは44%）。

### 【取り上げてもらいたいテーマ】

農業経営者・従事者では、「資材等のコストダウン」45%、「収益性の向上」42%、「販売・マーケティング」40%、「技術力の強化」37%の順に高くなっています。

公務員・関係団体職員では、「法人化」が41%、「集落営農等に向けた組織化」と「販売・マーケティング」がともに39%、「収益性の向上」、「農地の集積」がともに33%などとなっています。

### 【関心のある農政課題】

農業経営者・従事者では「経営安定対策」が61%と特に高いほか、「燃油・資材

の高騰対策」34%、「米の生産調整」29%、「耕作放棄地対策」、「自給率向上」がともに24%などとなっています。

公務員・関係団体職員では、「担い手育成」の割合が55%と最も高く、「経営安定対策」45%、「農地政策改革」33%、「米の生産調整」30%などが続いています。

## 【まとめ】

農業担い手メールマガジンは、分かりやすく、読みやすいメルマガを心がけて編集を行っており、行政関係者や農業関係団体の方々からは概ね好評をいただいておりますが、担い手の皆様からは、多少物足りないという評価が多いように思います。これまでのメールマガジンでは、個別の品目ごとの専門的な事項を深く掘り下げることができなかったことが、やや低めの評価に結びついたのではないかと考えています。

今後の方向性としては、「現場の皆さんへ」のコーナーでは、分かりやすい経営政策の解説を続けながら、後半では、技術や個別作目の課題など、やや深めた話題をご提供していきたいと考えています。

### 担い手のための耳寄り新技術

農業担い手メールマガジンでは、担い手の皆さんのための新たな企画として「担い手のための耳寄り新技術」のコーナーを設けました。このコーナーでは、今すぐ活用可能で有益な新技術についてご紹介していきたいと思っております。

### 水田作経営向けの経営計画・管理ソフト

水田作経営向けに、自らの経営の内容を詳しく把握し、具体的な経営改善計画の作成や管理ができる農業経営意思決定支援システム「FarmanDess（ふぁ～まんです）」を中央農業総合研究センターが開発しました。

このソフトはエクセル上で動くアドインソフトです。市販の簿記ソフト等には簿記や財務分析に優れたものが多い中、当ソフトは将来にわたる経営計画が容易に分析できる点が特徴です。既存の経営管理ソフト等を導入されている場合も、そのデータを使って経営改善計画の作成が可能です。主な特徴は次のとおりです。

- (1) 法人経営、青色申告を行っている認定農業者など個人の農業者、集落営農組織の代表者などが、それぞれの経営・組織の特徴に応じた経営分析を行えます
- (2) 目的に応じて、時間をかけない財務分析から、詳細な経営計画やキャッシュフローの検討まで、様々な意思決定を支援できます
- (3) 例えば、経営計画のシナリオに沿った経営改善計画案に対する収益性や財務安全性等が推計され、その妥当性の評価ができます（計画の妥当性）
- (4) また、年間を通じた販売額のパターンや、交付金等の支払い時期に対応して、必要な運転資金額が予測できます（資金繰り）
- (5) さらに、水田経営所得安定対策下での政策的支援額が計算され、新制度下での稲・麦類・大豆収入が試算できます（政策の影響）
- (6) このように、経営計画期間（5年間）における様々な経営計画シナリオの検討

が可能です

担い手の皆さんが、規模拡大や作物変更などの経営改善計画を行う場合の支援ツールとして有効なソフトですので、是非ともご活用いただきたいと思います。

詳細は中央農業総合研究センター農業経営研究チームのHPをご覧ください

<http://keieikenkyu.narcb.affrc.go.jp/>

農業経営研究チームのメールアドレス

[fmnarc@naro.affrc.go.jp](mailto:fmnarc@naro.affrc.go.jp)

(操作方法や解説はHP上にある『経営改善のためのビジネスシミュレーションツール農業経営意思決定支援システムFarmanDess「ふぁ～まんです」-操作・解説マニュアル-』をご参照頂くか、直接、農業経営研究チームまでお問い合わせ下さい)

## 編集後記

朝晩はかなり涼しくなり、秋の虫の声が心地よい季節となりました。

しかし、秋は実りの秋であるとともに台風シーズンであり、農業経営者の皆さんにとっては、十分な警戒が必要な時期でもあります。天候の変動には細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

メルマガでは、今回より「担い手のための耳寄り新技術」のコーナーを設けました。既存のコーナーと適宜組み合わせながら、皆さんのニーズに少しでもお応えできたらと考えています。

(S)

電子出版：農業担い手メールマガジン

発行日：毎月2回発行

発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：鈴木

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

<http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

<http://www.maff.go.jp/ninaite/mailmagazine.html>

このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>